

今月はICOの8月マーケットレポートに加え、トピックス（1）として米国スペシャルティコーヒー協会（SCAA）ホームページから同協会と欧州スペシャルティコーヒー協会（SCAE）との合併の記事、トピックス（2）として全米コーヒー協会（NCA）ホームページから『コーヒーと気候変動』についての記事をお届けします。



7月のコーヒー輸出量は、この5年近くの間で最少となった

7月のコーヒー総輸出量は、コーヒー4大生産国全ての輸出が様々な理由で減ったこともあり、前年同月比22%の減少となった。この輸出数量はほぼ5年前の2011年10月以来の低い水準である。8月中、ロブスタグループ月間平均指標価格は引き続き堅調で最近16か月間での最高値を付けたが、ICO複合指標価格の月間平均値は前月に比べ1.5%下落した。

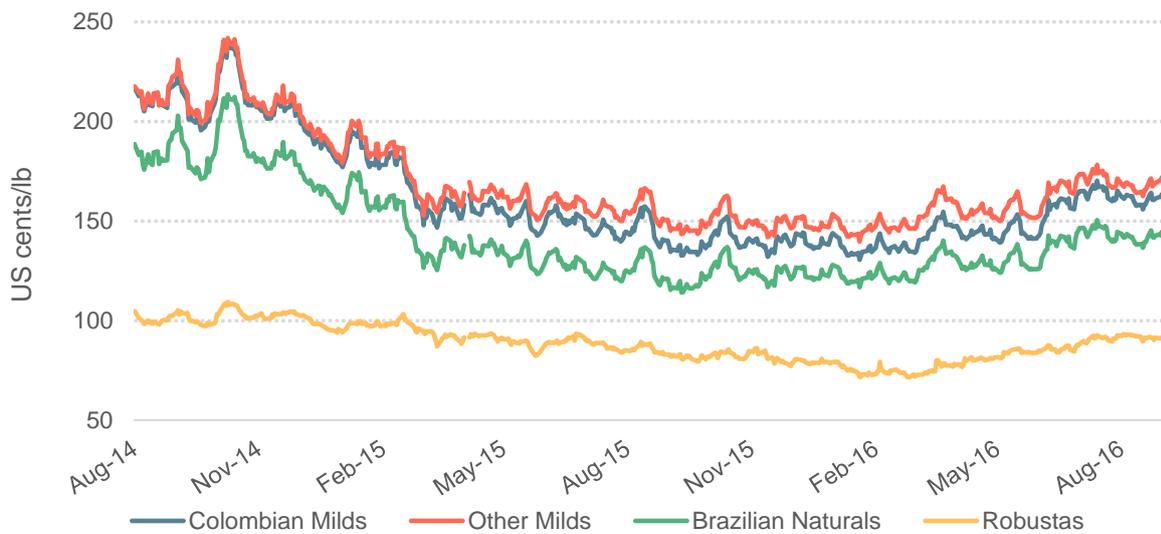
グラフ 1: ICO 日次複合指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

8月のICO日次複合指標価格は、ブラジルのアラビカコーヒーが降霜期だったことにも拘わらずほぼその影響を受けなかったことで、月初からの2週間は下がった。しかしその後、ブラジルコーヒーの2017/18年度生育状況に関する懸念が広がり、月末にかけて月初の水準まで値を戻した。結局、8月のICO月間平均価格は、7月の平均価格に比べ1.5%低い、131米セント/LBとほぼ変わらぬ水準で終わった。

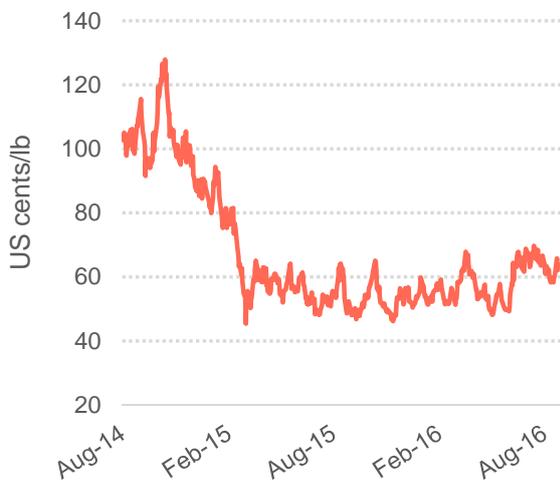
グラフ 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

ロブスタ指標価格は、8月中も堅調に推移し、6か月連続しての上昇となった。3アラビカグループの指標価格は、夫々の供給見通しを反映し7月に比べ下落した。このためロブスタとアラビカのアービトラージは若干縮小したが、それでも昨年に比べるとまだ高い水準に留まっている。

グラフ 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

グラフ 4: ICO複合指標価格の30日移動平均価格変動率



© 2016 International Coffee Organization (www.ico.org)

7月の総輸出量は大幅に減少し7.7百万袋となり、前年同月比22%減り、月間輸出量としては、2011年10月以来の最少輸出量となった。大手輸出国も夫々の固有事情により輸出が減少した。

ブラジルの輸出量は33.1%減り1.9百万袋となったが、内訳はアラビア生豆が1.6百万袋（-26.3%）、焙煎豆、ソリュブルコーヒーが300000袋（-10.3%）、ロブスタコーヒー生豆が40000袋（-90.9%）であった。2016/17年度ニュークロップがもうすぐ市場に出回る時期でもあり、ブラジルの国内在庫がほぼ底をついたことを裏付ける状況証拠になると言えるだろう。しかし、主に国内消費用に回されるロブスタコーヒーの供給懸念があるた

め、アラビカコーヒーの低級品が国内消費向けに使用されることが考えられ、結果として2016/17年度の供給可能性が減ることも予想される。

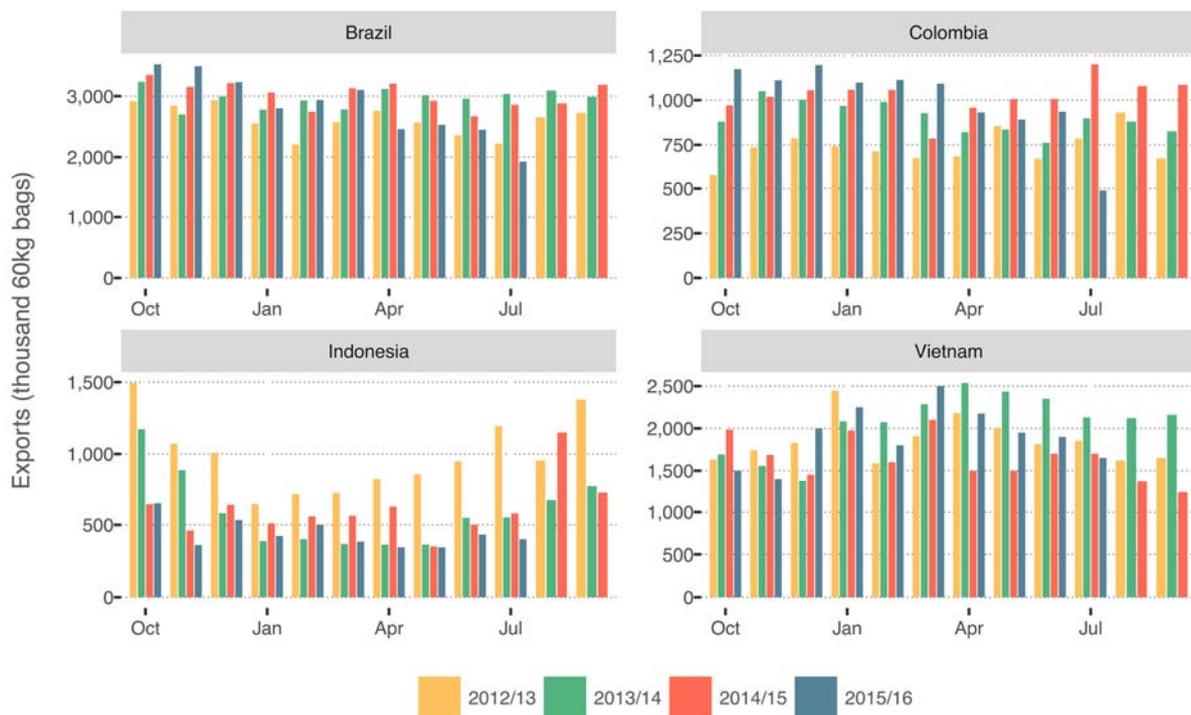
ベトナムの月間輸出量は推定1.65百万袋となり5.9%減少した。ただ、重要なのは、これはあくまで暫定数値であり、税関の公式発表数値とはかなり違うということである。この相違は輸出通関手続きが完了したにも関わらず未船積みのコーヒーが国内に残っているということを示す。これはベトナムの国内在庫が増えているということで、来年度の供給不足を軽減する要因になり得るだろう。

コロンビアの月間輸出量は、トラック業者組合のストライキで国内輸送が妨げられた為、60%近く減少し僅か489000袋となった。しかし、このストライキは解決したので、8月には輸出用コーヒーの荷動きが再開されることが期待されるが、他方、エルニーニョ現象による少雨の影響で年末にかけ生産量が減ることも予想されている。

最後にインドネシアの輸出については、2016/17年度コーヒー生量はエルニーニョの悪影響を受けており、収穫年度が始まる4月以降輸出はずっと低調である。同国のコーヒー年度の最初の四半期（4月～7月）の輸出量は前年対比45%減の1.5百万袋となっている。

Graph 5: Monthly exports by selected countries

July export volumes for the top four producing countries in coffee year 2015/16 (depicted in blue) were lower than the previous year.



© International Coffee Organization (www.ico.org)

結果として、今年度の最初の10か月間（10月～7月）の総輸出量は前年同期比1.7%少ない93.3百万袋となった。アラビカコーヒーが2.6%増加し（アザーマイルドとブラジルナチュラルの輸出が増え）、ロブスタコーヒーは8.2%の減少となった。

表 1: ICO 指標価格及び先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Aug-15	121.21	146.96	156.92	127.24	85.78	132.42	76.25
Sep-15	113.14	135.55	146.15	117.83	81.50	121.66	71.53
Oct-15	118.43	143.10	153.25	127.47	82.78	129.45	72.89
Nov-15	115.03	138.63	147.98	122.95	81.74	122.35	72.04
Dec-15	114.63	139.89	148.66	123.73	79.28	123.77	70.02
Jan-16	110.89	135.21	145.03	121.21	74.71	120.20	65.67
Feb-16	111.75	137.17	147.70	122.24	74.04	119.25	64.96
Mar-16	117.83	145.20	157.50	130.38	75.60	127.33	66.17
Apr-16	117.93	143.66	154.22	128.10	80.18	125.34	70.90
May-16	119.91	144.49	155.19	129.05	83.93	126.80	75.11
Jun-16	127.05	156.86	165.45	138.38	85.94	139.10	76.87
Jul-16	132.98	164.46	171.76	144.76	90.82	148.16	82.09
Aug-16	131.00	160.78	167.54	141.41	91.79	145.37	83.47
Aug-16 と Jul-16の%変化率	-1.5%	-2.2%	-2.5%	-2.3%	1.1%	-1.9%	1.7%
価格変動率 (%)							
Jul-16	6.2%	6.8%	6.9%	7.3%	4.8%	8.9%	4.8%
Aug-16	4.4%	5.1%	5.1%	5.7%	3.7%	6.6%	3.7%
Aug-16 と Jul-16の変化率	-1.7%	-1.7%	-1.8%	-1.6%	-1.1%	-2.3%	-1.2%

* 第2限月と第3限月の平均価格

表 2: 価格差 (ディフェレンシャルズ) (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Aug-15	-9.96	19.72	61.18	29.68	71.14	41.46	56.17
Sep-15	-10.60	17.72	54.05	28.32	64.65	36.33	50.13
Oct-15	-10.15	15.63	60.32	25.78	70.47	44.69	56.56
Nov-15	-9.35	15.68	56.89	25.03	66.24	41.21	50.31
Dec-15	-8.77	16.16	60.61	24.93	69.38	44.45	53.75
Jan-16	-9.82	14.00	60.50	23.82	70.32	46.50	54.53
Feb-16	-10.53	14.93	63.13	25.46	73.66	48.20	54.29
Mar-16	-12.30	14.82	69.60	27.12	81.90	54.78	61.16
Apr-16	-10.56	15.56	63.48	26.12	74.04	47.92	54.44
May-16	-10.70	15.44	60.56	26.14	71.26	45.12	51.69
Jun-16	-8.59	18.48	70.92	27.07	79.51	52.44	62.23
Jul-16	-7.30	19.70	73.64	27.00	80.94	53.94	66.07
Aug-16	-6.76	19.37	68.99	26.13	75.75	49.62	61.90
Aug-16 と Jul-16の%変化率	-7.4%	-1.7%	-6.3%	-3.2%	-6.4%	-8.0%	-6.3%

* 第2限月と第3限月の平均価格

表 3: 輸出国のコーヒー総生産量

Crop year commencing	2012	2013	2014	2015	% change 2014-15
TOTAL	144 960	146 506	142 278	143 306	0.7%
Arabicas	88 420	88 400	82 889	82 890	0.0%
Colombian Milds	11 523	13 488	14 571	14 845	1.9%
Other Milds	29 143	26 838	25 768	25 755	0.0%
Brazilian Naturals	47 753	48 074	42 551	42 289	-0.6%
Robustas	56 540	58 106	59 389	60 416	1.7%
Africa	16 668	16 214	16 055	17 449	8.7%
Asia & Oceania	42 552	46 453	45 666	47 805	4.7%
Mexico & Central America	18 609	16 596	17 269	16 753	-3.0%
South America	67 131	67 243	63 287	61 298	-3.1%

単位：千袋

Full production data are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 4: 輸出国のコーヒー総輸出量

	July 2015	July 2016	% change	October - July		% change
				2014/15	2015/16	
TOTAL	9 934	7 747	-22.0%	94 849	93 275	-1.7%
Arabicas	5 917	4 783	-19.2%	57 771	59 253	2.6%
Colombian Milds	1 268	571	-55.0%	11 154	11 171	0.2%
Other Milds	1 984	2 102	5.9%	18 717	19 395	3.6%
Brazilian Naturals	2 665	2 111	-20.8%	27 900	28 687	2.8%
Robustas	4 017	2 963	-26.2%	37 078	34 021	-8.2%

単位：千袋

Full trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	Aug-15	Sep-15	Oct-15	Nov-15	Dec-15	Jan-16	Feb-16	Mar-16	Apr-16	May-16	Jun-16	Jul-16	Aug-16
New York	2.36	2.28	2.15	2.08	1.95	1.82	1.76	1.62	1.58	1.53	1.48	1.45	1.45
London	3.43	3.43	3.37	3.35	3.31	3.23	3.04	2.92	2.78	2.64	2.53	2.45	2.37

単位：1 百万袋

表 6: 世界コーヒー消費量（単位：千袋）

Calendar years	2012	2013	2014	2015	CAGR (2012-2015)
World total	143 430	147 811	150 389	152 204	2.0%
Exporting countries	44 711	45 522	46 649	47 633	2.1%
Importing countries	98 719	102 289	103 740	104 572	1.9%
Africa	9 839	10 690	10 455	10 621	2.6%
Asia & Oceania	28 421	29 649	31 260	33 131	5.2%
Central America & Mexico	5 149	5 154	5 215	5 242	0.6%
Europe	49 459	50 499	50 960	50 116	0.4%
North America	25 730	26 931	27 679	27 975	2.8%
South America	24 831	24 888	24 819	25 120	0.4%

ートピックス（1）ー

米国スペシャルティコーヒー協会 (SCAA) と欧州スペシャルティコーヒー協会 (SCAE) が合併することが決まりました。

両協会の執行部は 2013 年 8 月から合併に向け話を進めてきましたが、紆余曲折を経て両協会会員投票の結果、賛成多数となり、2017 年初めまでに合併の詳細を煮詰めた上で、2017 年に合併することが決まりました。SCAE は本年5 月会員投票を済ませ賛成多数（投票率 51%、賛成票 86%）で合併を決め、SCAA の投票結果を待っていましたが、SCAA が 8 月 5 日までの 1 か月間、会員によるオンライン投票を実施し、賛成多数（投票率 56%、賛成投票 62%）となり最終的に合併が決まったものです。

SCAA 理事会は 8 月 10 日、同社ホームページで会員に対し、投票結果及び今後の方向性などについて報告していますので、全訳をお届けします。

SCAA 理事会から

親愛なる会員の皆様へ

私共は SCAA 会員の皆様が SCAE との合併に関して賛成（YES）の票を投じたという結果をお知らせできる事を大変喜んでおります。全ての投票が完了し、確認した結果、SCAA の会員の皆様による投票結果は次のようになりました。

投票率：56%

賛成票：62%、反対票 38%

我々は会員の皆様から選ばれた代表として、世界が変化し成功への新しいアプローチが求められる中で我々の共通の目的を達成するためにはこれらに前向きに取り組み、新しくて更に良い手段を探しながら会員の為の価値（Value）を高めることが重要だと考えています。我々が皆さんに引き続きサービスを提供できる機会を与えて頂き、またコーヒー業界すべての人が良くなる機会を与えて頂いたことに感謝申し上げます。

結局最終的にスペシャルティコーヒーを守り、刷新していくための次の段階（next phase）への案内役を務めたのはあなた方会員の皆様でした。皆様から頂いた情熱（passion）献身（dedication）、多くの質問（questions）、お時間（time）に感謝します。またこの 1 年、度々開いたウェビナー（webinars）、個別会合、重要な対話集会に参加するためにお時間を割いて頂き有難うございました。貴重なご意見賜り有難うございました。更に最も重要なことですが投票して頂いたことに対し深謝申し上げます。

これで我々は次の段階に進むことができます。2016 年中は、理事会、委員長、職員のレベルでこの合併を正しい方向に進めるための計画 (planning) や準備作業に費やされることになりますが、この期間、多くのプログラムや特典については今までとほとんど変わりはありません。この間、我々は引き続き 2 つの別々の協会であり続けますが、我々は主に合併後のインフラや計画を詰める作業に集中するつもりです。しかし、我々は引き続き会員の皆様への情報伝達はオープンに行うつもりですし、次の段階に進む際には最初に皆様にお知らせすることをお約束します。また何か重要な案件が発生した場合にも必ず皆さんに最初にお知らせします。とりあえず当面の目標としては次のようなことを考えています。

- ・ 2 つの教育プログラムを統合し、ボランティア・インストラクターや専門家が指導する簡潔で、調和のとれた、世界規模の教育プログラムを構築する。
- ・ コーヒー科学と消費者嗜好及びこの二つの間に位置するすべてのコーヒー関連事項についての理解を深め、新たな研究を行う。
- ・ 持続可能性 (Sustainability) への努力を前進させる。
- ・ 新しい規則 (bylaw) や戦略プラン (strategic plan) を導入することになるので、会員は行事に参加することで、新たなチャンスが得られる。
- ・ これまで会員がよくご存じで、愛されてきた SCAA の行事については、合併することで新たな刷新、提携、米国全土及びそれを越えたネットワークのチャンスが生まれる。
- ・ 他民族リーダーシップや新たなチャンスが発展をもたらす
- ・ 会員組織を更新し、簡潔にすることで会員への価値を高める

我々は、我が協会の長い歴史の中で皆さんと共にこの瞬間を共有できることを言葉で表せないほど喜んでいますが、スペシャルティコーヒー産業の全ての人々にとってのより良い未来のために我々の考えを支持して頂き誠に有難うございました。

敬具

SCAA 理事会一同

ートピックス（2）ー

全米コーヒー協会（NCA）のホームページに気候変動とコーヒーに関し興味深い CNBC（Consumer News and Business Channel）の記事が掲載されていたので全訳をお届けします。

これがあなたの最後のカフェラテになるかもしれない？

ある研究によると『気候変動がコーヒーに打撃を与える』とのことである。

Anmar Frangoul

2016年8月30日

最近発表された研究によると、気候変動がコーヒーの品質、価格及び生産量に非常に大きな影響を与えることになるとのことである。

オーストラリアのシドニーに拠点を置く気候研究所（Climate Institute）によると極端な気候変動と温暖化により 2050 年までにコーヒーの生産適地は半減する可能性があるとのことである。

気候研究所 CEO の John Connor 氏によると、毎日 22.5 億杯のコーヒーが世界で飲まれており、オーストラリア国民の半分近くが日常的にコーヒーを飲んでいるとのことである。

『コーヒーはこれほどインパクトの大きな飲料であるにも拘わらず、気候変動が大きければ大きいほど被害も大きくなる多くの事象の一つとして扱われている』と付け加えた。

この報告書『暴風雨の前触れ（A Brewing Storm）』：気候変動のコーヒーのリスク報告書はオーストラリア・ニュージーランドのフェアトレード社が委託し作成されたもので、8月29日に発表された。

気候研究所は報告書発表の際に、『世界中でコーヒーを生産する農家 25 百万軒の 80～90% が最も厳しく気候変動に晒される中小コーヒー生産者が占めている』と述べた。レポートでは、強力な気候変動対策を今始めなければ、数 10 年以内にコーヒー生産適地は半減し、2080 年までには（遺伝的多様性に重要な）野生コーヒー（wild coffee）が消滅することになるだろうとも言っている。

Connor 氏によるとスターバックスやラバツアのような大手企業や国際コーヒー機関

(ICO) はこの厳しい気候変動リスクを十分理解し懸念を公にしているとのことである。更に、消費者は間もなく、コーヒーの供給不足や、味・香りへの影響、価格の上昇に直面することになるだろうとも言っている。

Connor 氏は、この影響を緩和するための手段を今すぐ採るべきだと述べた。これらの手段の中には、消費者がカーボンニュートラルもしくは気候変動ニュートラルなブランドを買うことも含まれるとし、コーヒーメーカーや政府が『全ての製品、ビジネスモデルや経済モデルをカーボン及び気候変動ニュートラルなもの』にすることを要求すべきだと語った。

今年初め、世界の大手コーヒーメーカー Iilly 社の会長 Andrea Iilly 氏はダボスに於ける CNBC とのインタビューの際、気候変動は中期的、長期的なコーヒー生産にとっての脅威であると話していた。

Iilly 氏によると、コーヒーは気候変動により厳しく影響を受ける農作物であり、地域によって高温により被害が出やすいところと、干ばつや豪雨による水害により被害を受けやすいところがあるとのことである。

更に Iilly 氏は、気候変動が生産に影響を与えることが予測される中で、消費量は伸びているという問題もあるとした。

彼によると、『今世紀末までには少なくとも 2 倍の、より高い可能性としては 3 倍のコーヒー生産量が、現在の 50% 以下の生産適地から収穫されなければならなくなるだろう。我々が解決すべき問題は深刻なものである』とのことであった。

以上